

2015
大阪転換の
年に

くらし第一、国の政治の 流れを変える大阪に

2015年春。いっせい地方選挙がおこなわれます。ゆきづまる大阪をどうするのか。求められるのは、「維新政治」の逆流ではなく、安倍政権の暴走からくらしと自治を守り、明日をひらく大阪府政と市町村政への転換です。

くらし第一、雇用拡大で景気回復

「増税不況」のうえ、「維新」の府民サービス削減、くらし切り捨ては許せません。賃上げと雇用拡大を大企業に迫り、社会保障充実と中小企業振興で庶民のふところをあたためる府政・市政をとりもどしましょう。

大企業は儲けを賃金に回さず
内部留保に積み立てている



安心できる子育て・教育を

子どもの医療費助成は全国ワーストクラスの大阪府政。府の責任で小学校卒業まで引き上げれば、府内の市町村でも中卒・高卒まで拡充できます。「35人学級」を広げ、どの子も伸びる教育をすすめましょう。

各県独自の子ども医療費助成制度・通院(2014年度)



防災・福祉型公共事業への転換

橋下・維新流の「成長戦略」はカジノやリニア、大型開発頼み。これまで破たんしてきた道です。公共事業は住民密着—福祉施設の建設や防災、自然再生エネルギー促進の方向へ、抜本的に転換しましょう。



「何でも民営化」はストップ

病院、地下鉄、水道—「何でも民営化」をすすめる「維新」に対し、大阪市では共同の力でストップをかけています。市民の財産を守り、福祉、医療、防災などに公的責任をつらぬく自治体をつくる時です。



住吉市民病院を守れ——区民過半数署名の力でたたかいたがすむ

“橋下さん流”独裁手法に断罪が

「選挙で勝ったら何でもできる」と独裁的にごり押しする橋下氏。こんなやり方に対し、府議会・大阪市議会は「大阪都案」を否決。市職員アンケート(思想調査)には労働委員会の断罪が下がっています。



昨年9月、大阪地裁で

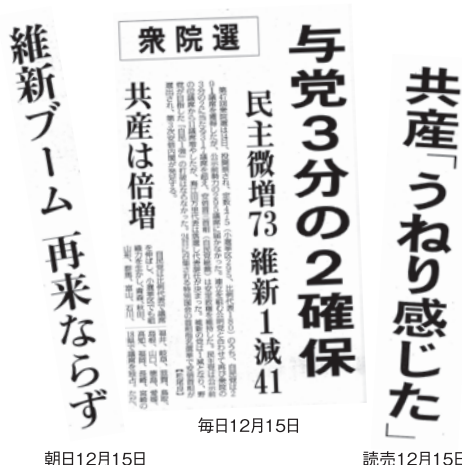
大阪市をつぶす
「大阪都」
ストップ
(裏面に特集)

暴走政治ストップ、 政治改革への願い

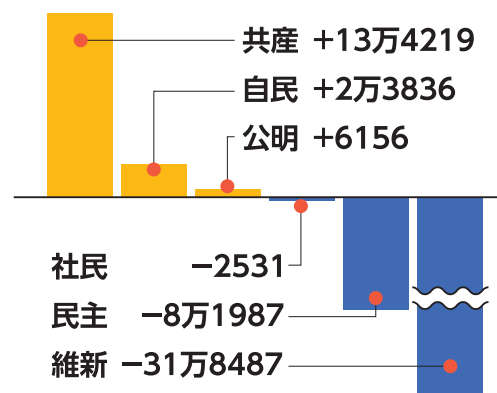
大阪の総選挙結果から

昨年12月におこなわれた総選挙。

比例代表の得票で見ると、前回と比べ自民、公明は横ばい。「維新の党」は31万票、民主党は8万票減りました。「2大政党」「第3極」といわれた政党に代わり、日本共産党は13万票以上増やし、大阪でも暴走政治ストップ、政治改革への願いが顕著です。



2年前からの大阪の各政党得票増減



大阪市つぶし、くらし破壊の

「大阪都」 やめてんか!

府議会・大阪市議会で否決された「大阪都」構想の「協定書」が、「官邸」がらみの「鶴の一声」でよみがえりました。なんで東京の「密室の取引」によって、問題だらけの「大阪都」を府民・市民におしつけるのでしょうか。

やり方も、中身も、あきません

昨年7月に「法定協議会」から「維新」以外の委員を排除して決定した「協定書」。昨秋、大阪府・市議会が否決したのは当然です。この問題だらけの「協定書」を、ほぼ無修正のまま「住民投票」にかけようというのです。市民の声も議会も無視した暴走です。

ご存知ですか?

欠陥だらけの「大阪都」の設計図

「大阪都」になれば、大阪市はつぶされます。その権限や財源は「大阪都」に吸い上げられ、くらしはガタガタに。その設計図は欠陥だらけです。

? 市民サービスは バツサリ削減

「協定書」には、「敬老パス」有料化、住吉市民病院廃止、スポーツセンター・プールなど市民サービス総切り捨て計画(3年間に379億円)や、議会で否決された「地下鉄・市バス民営化」がすべて組み込まれています。

? 市民の声が届かない

「国民健康保険」「介護保険」など100種類もの事業が新たな「特別区」の仕事ではなく、市民の目が届かないまったく別の役所(一部事務組合)の仕事になります。「特別区」に「保険料を下げる」「減免制度の拡充」などの権限はなく、住民の声は届かなくなります。

? 福祉・医療を支えられない「特別区」

新「特別区」では新庁舎の建設費や維持費だけで30年間に855億円も必要です。そのうえ権限・財源は「都」に吸い上げられ、財源不足は最初の6年で1123億円にもなります。住民が福祉・医療の充実を求めても「財源が無い」となってしまいます。

? 上から目線で、でたらめな 区割り案・地名

なぜ5つの「特別区」なの? 住之江区はなぜ分割するの? 「特別区」の地名は、すべての町名の頭に、いまの「区名」をつける? 住民の声をいっさい聞かず、「上から目線」のおしつけ案です。



なんで
カジノを大阪に?
橋下市長が大阪市を解体して財源と権限を得てやりたいことの第一はカジノ誘致です。そんなことのために大阪市をつぶしていくのでしょうか? それは困ります!